

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	元気な地域づくり交付金事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	6	1	7		1,942
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり										
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動										
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	必要	関連計画条例等		県営土地改良事業分担金徴収条例 市営土地改良事業等の経費の賦課徴収に関する条例 飯田市田園環境マスタープラン			
		事業期間	14	年度～	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	整備が必要な施設の受益農地および関係農家	受益面積:ha	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			32.4	32.4			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	機械作業のできる生産性の高い農地に転換させたり、車の寄りつけないような農地の荷出しを容易にすると共に、生産物の荷傷み防止、排水不良の改善をするため、区画整理や農道・用排水路等の整備を実施する	区画整理済面積:ha	18目標	0	最終目標		
			18実績	0	19目標	0	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	将来の農業を担う効率的で安定した経営体(担い手)を育成し、その担い手が地域の農業の中心的役割となり、多様な営農を維持継続していくために、地域の特性に応じて農地の汎用化等の高度利用を行うため、区画整理や水路、農道等の整備促進する事業。 元気な地域づくり交付金事業 ・伊賀良 上大瀬木地区 農道・用排水路整備 ・上郷 米の原地区 L=1,700m W=6.0～4.0m	18年度の実績 元気な地域づくり交付金事業 ・伊賀良 上大瀬木地区 農道・用排水路整備・・・調査	事業実施面積:ha	0
	19年度計画 元気な地域づくり交付金事業 ・伊賀良 上大瀬木地区 農道・用排水路整備・・・調査 ・上郷 米の原地区・・・調査	事業実施面積:ha	0	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	0	1,942
事業費計(A)		0	1,942
人件費	正規職員所要時間	18年度 160	19年度 160
	臨時職員等所要時間	10	10
	人件費計(B)	583	583
	トータルコストA+B	583	2,525

特定財源内訳や補足事項	元気な地域づくり交付金事業(補助)国:50%,県:0.5%
-------------	-------------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	農作業の受委託の促進、遊休荒廃農地の解消、農村景観の保全及び荷傷み防止や排水不良の改善により増収が見込まれる。また、アクセスが改善されることにより、観光農園等を視野に入れた農業振興が期待される 出荷額等を高める活動をする	既存農業者の産出額(農業):億円	現状値	121	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	139.1
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>未整備の農地は、過疎化や農家の高齢化、若者の農業離れ等の進展により、農地の保全管理が困難になり、機械化ができないため農作業の受委託も促進できず、荒廃・遊休農地が増加し、地元関係者から強い要望が寄せられた。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>平成11年の農業基本法が食料・農業・農村基本法へ改正されたことにより、将来の農業を担う効率的で安定した担い手を育成するために必要な区画整理や農道・水路等の整備を行い、育成された担い手が整備された農地で集約的な農業を展開し、将来にわたり優良農地を維持・保全することにより、食料自給率を向上させることが目的となった。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>過疎化や農家の高齢化、若者の農業離れ等の進展により、農地の保全管理が困難になり、荒廃・遊休農地の増加が一層進み地区からの強い要望が寄せられている。</p> <p>・伊賀良 上大瀬木地区については、ほ場整備の強い要望があり、平成11年より関係者との協議を行ってきており、早急な事業着手が求められている。</p> <p>・上郷 米の原地区については、合併時において計画されたものである。</p>
---	--	---

【See】18年度の振り返り

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)</p> <p>ほ場や農道及び用排水路が整備されることにより、遊休・荒廃農地が減少する</p>	<p>有効性 評価</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 余地がない (その理由)</p> <p>現在の事業が最良である</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>事業区域を決定し、事業が採択されている</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)</p> <p>工作道がないなど機械作業のしにくい不良農地が多いため、遊休・荒廃農地が増加する</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>工作道がないなど機械作業のしにくい不良農地を改善するには、ほ場整備が必要である</p>		<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 統合不可能 (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)</p> <p>県あるいは市が事業主体となって採択を受ける事業である。</p>		<p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由)</p> <p>効率的な事業施工方法を検討し、工事を施工する</p>
				<p>公平性 評価</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>受益者が確定される事業である</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 目的見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 別事業に統合</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text"/></p> <p>具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>県営 経営体育成基盤整備事業(上大瀬木)・・・県営事業での採択の見通しが立たず、今後交付金事業等での道水路の整備を検討していくこととした。</p> <p>県営 ため池等整備事業・・・平成18年度県単防災事業として実施することとした。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>・伊賀良 上大瀬木地区について、事業の大幅な方向転換について地域への十分な説明が必要。</p> <p>・元気な地域づくり交付金の計画策定において、飯田市全体でのソフト事業を含めた計画の策定が必要。</p>
---	--

【補足事項環境側面】

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>	

【指摘事項】

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	